変わる衣服と変わらない衣服（グローバル化と伝統）

人々の衣服が、時代や地域を越えて、変わったり変わらなかったりするのはなぜか

変える力：同じような服が広がる（均一化）



流行が世界に広がる

ファッションの情報が世界に伝わり、同じ流行が広がる



生産・流通のグローバル化

同じ型の服が、世界の工場で作られ、世界の店で売られる

また、世俗化によって、宗教的な衣服にも変化が見られる

保つ力：地域ごとの服が続く（多様性）



自然環境や生業に合う

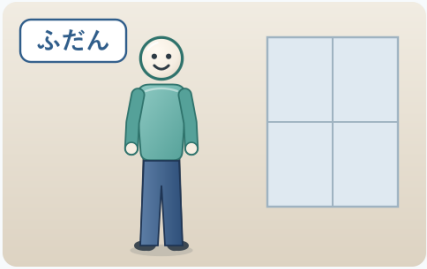
地域の気候や仕事に合った素材や形（例：寒い地域の毛皮の服）



伝統や信仰を表す

行事や祭り、信仰を表す服が受けつがれる

同じ人の、ある日とある日（架空の人物）





衣服は、グローバル化で均一化が進む一方で、
自然環境や生業、伝統や信仰によって
地域ごとの多様性も保たれている。
同じ人が、場面によって服を選び分けることもある。

※ 模式図。服の絵は典型例で、特定の国・民族・宗教の服を表さない。人物は架空。